

競技上の注意事項(最新版)

1. 競技規則と競技方法

- (1) 本大会は令和7年度公益財団法人日本パラスポーツ協会編「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び本大会「競技上の注意事項」を適用する。
- (2) 競技方法は、各組タイムレースとする。競技は「競技進行表」により行う。
- (3) 失格はとらない。※本来失格になる場合は「アドバイスシート」をお渡しする。
- (4) 競技に関する違反があった場合は、アドバイスシートにて助言をする。
※競技中の中断(立つことなど)への回数制限はしませんが、選手のみならず、家族・指導者の方も完泳のための努力・指導をお願いします。
- (5) 個人種目の申し込みは1人2種目までとする。
- (6) リレーは選手1人につき1種目、1回の出場を原則とする。
- (7) リレーのみでも可 ※団体の3チーム以上出場の場合は要相談
- (8) プール施設室内温度は31℃、水温31℃程度とする。

2. スタートについて

- (1) スタート方法は、障害区分による制限をしない。ただし、安全にできる方法で実施すること。
- (2) 本記録会は、公益財団法人日本水泳連盟「プール水深とスタート台の高さに関するガイドライン」より、飛込台からのスタートは禁止とし、プールサイドからの飛び込みのみとする。また、上記のガイドラインより飛び込みスタートの方法を十分習得している泳者のみとする。なお、下記日程にて飛び込み方法の練習会を開催する。飛び込みを希望する者は、選手向けの本練習会にご参加いただくことを推奨する。選手向け練習会に参加できない者は、指導者向けの練習会への参加を可とする。両日ともに参加できない者は、本記録会までに飛び込みのスタート方法を十分に習得していることを推奨する。参加の可否については、申込書に記入すること。
※大会当日は背泳ぎのスタートのため飛込台を設置するが、台上からの飛込は不可とし、台横からの飛込のみとする。

～練習会日時～

選手向け:令和7年9月7日(日) 18:00～20:00

指導者向け:令和7年9月5日(金) 18:00～20:00

本練習会の詳細については別紙を参照すること。

3. 競技順

競技は、「競技進行表」により行う。

4. 招集

- (1) 招集場所は体育館内にて、競技開始時刻の15分前、招集完了時刻は競技開始時刻の5分前とする。プログラムを確認し、時間に遅れずに招集を受けること。招集完了時刻に遅れた者は棄権とみなす。
- (2) 競技の進行により、招集時間が変更する場合があるので、注意すること。

5. プール内への入場

本大会では、事前に申請した入退水時の介助者、合図棒による合図の為の介助者と団体代表者1名のみとする。
(受付へ申し出て入場許可をもらい、プールサイドに入場する際は見える場所にバンドを装着すること。)



黄色は介助者用
※事前に申請がある方



青色は団体代表者用
※1団体につき1枚のみ
※事前に申請がある方

裏面にも記載あります。

6. 競技時間

競技時間は、進行により変更する場合があるので、各自進行状況に注意すること。
(進行が 30 分以上早くなった場合は、審判長の判断で時間を調整する。)

7. 棄権・訂正について

棄権・プログラムの訂正は当日受付に棄権・訂正用紙を提出すること。
当日の参加種目の変更や追加は一切認めない。

8. 速報の掲示

速報は、体育館内に掲示する。

9. 記録

完泳者には「記録証」を受付にてお渡しする。

10. ウォーミングアップについて

実施時間は下記の通り。なお、使用レーンはスタッフの指示に従うこと。
※参加人数により時間を変更する場合があるため、参加決定通知書を必ず確認すること。

プログラム名	練習時間
No1～15	9:40～10:10
No16～24	13:30～14:00

11. その他

- (1) 本記録会での浮助具とは、水に浮く助けとなる道具をさす。
- (2) 各種目の組編成は申告タイムにより行うため、予想タイムを記入すること。
- (3) 水深の浅いコース(0.7m-0.9m-0.7m)を希望する者は、申込書の「赤台コース」欄に『有』と必ず明示すること。
※このコースに限り、飛び込みなしとし、入水スタートとする。
(浅いコースは1コースのみ、他のコースは水深 1.1m-1.3m-1.1m)
- (4) 水深の浅いコースの隣となる 2 コースについては水中スタートのみとし、3～6 コースはプールサイドからの飛込のみ可とする。
- (5) 飛び込みスタートは、プールサイドからの飛び込みに限る。また、リレーに関してもプールサイドからの飛び込みに限る。
- (6) プール用車いすを使用する場合、体育館内の選手受付に申し出ること。使用後は元のところに返却し、使用が終わった旨を受付に報告すること。
- (7) 選手の休憩・待機場所は、体育館のみとする。(宿泊棟等への立ち入りはできない。)
※体育館内での食事(軽食含む)は禁止。水分補給は、栓のついたペットボトル、ドリンクボトルのみ可。
- (8) 更衣は、プールの更衣室を利用すること。なお、ロッカー使用時は必ず 100 円硬貨により、施錠すること。(使用後、硬貨は返却される) 紛失などの責任は一切負わない。
- (9) 大会期間中における事故または傷病については、応急処置のみとする。その他の責任は負わないので、体調などは各自自己管理すること。なお、会場内で体調不良となった場合は、近くのスタッフに申告し、移動せずその場で指示を待つこと。
- (10) 体育館内の写真撮影は、可とする。それ以外の施設では、写真撮影および動画撮影は禁止とする。
※体育館内で撮影する際は、他の人が写真に映らないように配慮すること。
- (11) 手話通訳者は適宜配置とする。
- (12) 当日は混雑が予想されるため、観覧席は観覧者のみとし、場所取りはご遠慮ください。
プールサイドに入場する場合は、リストバンドを見える場所に装着すること。
リストバンドは競技終了後、各自破棄を行うこと。また手荷物は、持ち込まないこと。
- (13) 主催者が許可した報道機関等の撮影及び録音、ならびに放映及び放送についてご協力をお願いします。
また、冊子やセンターHP 等への写真等の掲載についてご協力をお願いします。